発行元:横浜市泉区社会福祉協議会・泉区ボランティアセンター/令和5年3月発行

## 泉区ボランティアセンター通信 かわら版 ~春~



## 福祉教育で広げる福祉の心

ボランティア活動や福祉について、関心をもち、知ってもらうにはどうしたらいいのか?ボランティア活動により多くの世代が参加し、発展していくには…?泉区社会福祉協議会(以下 泉区社協)では、福祉の心やボランティアへの関心がさらに地域に広がっていくことを目指して「福祉教育」に積極的に取り組んでいます。取り組みのなかでは多くの地域のボランティアの方々にご協力いただいています。今回はその取り組みの一部をご紹介します。



#### 🤎 いずみボランティアスクール 2022

泉区社協で毎年実施している、小学4年生~高校3年生を対象とした体験学習です。保育園や高齢者施設、障がい者施設などさまざまな場所でのボランティア体験をとおして、福祉や地域の活動を学びます。なんと毎年100名を超える子どもたちから参加希望が!今年度は地域で活躍するボランティアグループにも多くご協力いただき、地域を支えるボランティア活動を体験してもらいました。

#### ● 小中学校の福祉の授業に協力

小中学校での福祉をテーマとした授業実施をサポートしています。授業の内容は障がい理解や高齢者を知る、互いの違いを認め合うなど、さまざま。子どもたちの関心や先生の思いをもとに、どんな授業が良いかともに考えます。 授業の講師としては、学校近隣の施設職員や、ボランティアグループの方々にご協力いただくこともあります。 ボランティアの方々は日頃の活動で培った知識やスキル、福祉や地域活動に対する思いを子どもたちへ伝えてくださる、心強い存在です。





#### ● 福祉教育サポーターがお手伝いしています!

上記のいずみボランティアスクールや学校の福祉の 授業において、サポートをしてくださっているのが 「福祉教育サポーター」のみなさん。子どもの体験の 見守りから、ときには講師まで!子どもたちへ福祉の 心を伝えるため、幅広く活躍してくださっています。

"福祉教育"に関心をもたれた方、関わってみたいという方は、ぜひ福祉教育サポーターの一員になってみませんか?



### 泉ふれあいホーム探訪記 ~その①

泉ふれあいホーム(泉区福祉保健活動拠点)には、 地区センターや地域ケアプラザにはない特別な部屋が あります。そのひとつが「点字製作室」です。

目の不自由な方にとって社会の情報を得る手段は限られています。そのひとつが「点字」です。点字は特殊な用紙に凹凸を付けて、その並びを指で触って文字を読み取ります。





以前は用紙に凹凸をつけるには点字器を用いて、一文字ずつ打ち込んでいましたが、近年はICT技術の進歩によりパソコンで入力して「点字プリンター」で打ち出すことができるようになりました。

泉ふれあいホームの点字製作室には、目の不自由な方を支援するため、点字製作用のパソコンと点字プリンターが設置されています。興味のある方は、ふれあいホームに見学に来てみてはいかがでしょうか。



# 泉区社会福祉協議会ホームページに 毎月掲載予定! こちらから

こちらから ご覧いただけます

2月より従来の「ボランティア募集情報」に加え、ボランティア募集の一覧をホームページに定期的に掲載します。

コロナ禍の活動制限も少しずつ緩和され、ボランティア募集も少しずつ増えて きています。なにか始めてみたいなという方、ぜひご覧ください!



#### 令和5年度のボランティア活動保険の加入受付が始まっています!

令和5年度ボランティア活動保険の加入受付が開始しています。 令和4年度より継続して加入される方は手続きをお忘れないようご注意ください。



ボランティア活動保険は、新型コロナウイルス感染症(ボランティア活動中の罹患)も補償の対象となります。※ボランティア行事保険では、補償の対象とはなりません。

マお問い合わせ:泉区ボランティアセンター (横浜市泉区社会福祉協議会内)

横浜市泉区和泉中央南 5-4-13 泉ふれあいホーム内(相鉄いずみ野線「いずみ中央」駅前・相鉄ライフM 3階)

電話:045-802-2150 FAX:045-804-6042 Email:izumiku01@yokohamashakyo.jp